

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位の数	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
大和高田市	学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	少子高齢化により地域ボランティアや保護者ボランティアの確保が難しく、体験活動や学習支援が充実されないという課題がある。	当該における学習支援や体験活動を、他の公共施設を活用して行うことで、学校と地域を繋いでいきながら相互理解を回り、人材確保を目指す。	令和6年度は児童生徒が学習や体験活動を行う機会の設定について、目標値に届かなかった。児童生徒が参加できる行政事業にも協力し、学校や保護者、地域の方々と連携して体験活動を行う機会を積極的に作ることで、地域人材の確保を図る。	地域人材による学校支援ボランティアを増やすことで、人材の繋がりが輪が広がり、地域と共有する学校が増える。	児童生徒が活動できる場や学習する機会を積極的に設ける学校数	5	校	8	6	取組みの方向性や目的を発信することにより求める人材の確保につながった。人的状況や活動の方針が変わる等、見通しが不十分だったりという課題がある。これまでの積み重ねを維持しながら継続的に地域と共に取り組める支援を行っていく必要がある。	<a href="https://www.city.yamatotakada.nara.jp/kankos/shogaigakushu/7686.html">https://www.city.yamatotakada.nara.jp/kankos/shogaigakushu/7686.html</a>